

「#（ハッシュタグ）」とは、SNS等で特定のテーマについて検索して一覧表示する機能のことです。大分県内の農林水産業の中から選りすぐった旬の話題を県拠点からお届けします。

みどり戦略×農業女子PJ×デイリーヤマザキ大分曲店 #みどりDマルシェを開催しました



11月8日、デイリーヤマザキ大分曲（まがり）店内で展開している「みどり戦略」コーナーがマルシェを開催し、「おおいた農業女子プロジェクト」メンバーの環境にやさしい農業で作られた農産物を中心に新鮮な青果や加工品をメンバーが販売しました。

コンビニ駐車場のマルシェは、通りすがりの方なども気軽に足を止めていただき、地場産農産物やみどり戦略に触れるきっかけの場として賑わいました。みどり戦略に通じる内容を、農業の“こだわり”という形で生産者から消費者に伝えることができ、たくさんの品物をお買い上げいただきました。

また、おおいた「みどり戦略」オフィシャルインフルエンサー2名を含む参加メンバーによるSNS等で、充実した情報発信も行われました。

詳しくはこちらから（大分県拠点HP）



OBSラジオでみどり戦略をPR！

10月20日放送のOBSラジオ「おはようサンデー甲斐蓉子の教えて！農業」に陶山地方参事官が出演し、「みどり戦略」について説明し、大分県内での取組や、私たちにできることなどについて話をしました。



コンビニで「みどり戦略」推進を継続中です！

「デイリーヤマザキ大分曲店」のご協力で、店内で大分県内農業女子PJメンバーの農産物を販売中です。

消費者に身近なコンビニで農産物を販売することで、購入者が「環境にやさしい持続可能な消費」を意識するきっかけづくりの場としてもらうことを目的としています。お近くにお越しの際は、是非お立ち寄りください。



詳しくはこちらから

OBS大分放送
ラジオHP



大分県拠点HP



大分県農林水産祭に出展しました

10月19・20日に開催された、令和6年度大分県農林水産祭「おおいたみのりフェスタ」に九州農政局コーナーを出展しました。ブースでは、「食料・農業・農村基本法改正の概要」や、「みどりの食料システム戦略」、「農業女子×SDGs」等のパネルや各種パンフレット等を展示し、来場者には、クイズ形式で環境問題と農業の関係等について考えていただきました。また、スマート農業について関心を持っていただくため展示した自動操舵機能付きトラクターは、多くの来場者の関心を引いていました。



統計調査にご協力ください（2025年農林業センサス）

令和7年2月1日現在で、全国一斉に“農林業の国勢調査”といわれる「2025年農林業センサス」が実施されます。この調査は、今後の農林業の政策に役立てるために5年ごとに実施される極めて大切な調査です。

令和6年12月中旬から農林業を営んでいる皆様のところに調査員が訪問して、調査票に農林業の経営状況などの記入をお願いしますので、ご協力をお願いします。

2025年農林業センサスキャンペーンサイト



農林業センサス

みどりの食料システム戦略 ～大分県内の取組事例～

有機農産物を利用した給食 ～保育園のみどり戦略～



【有機農産物を利用した給食】



【農業体験（じゃがいもの収穫）】

【保育園の取組】

環境への負荷をできる限り低減した有機農業でつくられた農産物を、学校、幼稚園、保育園などの給食で利用する動きが各地で広がっています。由布市の保育園「こどものにわ楓」では、平成9年に開園した、0～5歳児30名ほどの比較的小規模の園で、開園以来、毎日の給食に、同市内や県内でつくられた有機農産物を積極的に利用しています。

【有機農産物を利用した給食】

取組のきっかけは、創業者の林悦子園長が、かつて他園の保育士であった頃に、自然と調和し、日本人に適した伝統的な食生活の大切さを意識するようになったことに遡ります。当時の給食に有機農産物を取り入れようと、まずは取り組みやすいしょうゆなどから導入していったとのこと。

現在、同園の給食室では、有機給食を安定して提供するために、さまざまな工夫を行っています。化学農薬を使わない有機農産物のため、天候や病害虫などの影響で、想定どおりの野菜が入手できないケースもあり、取材当日も、にんじんが入手できなかったため、代わりになすを上手に使っての調理が行われていました。

【こどもの食事の大切さ】

味噌や、天然酵母を使ったパンなども給食室でつくっており、有機野菜や、近隣農家の協力で園児が田植えや稲刈りを行った米などとともに、給食に提供しています。

調理も、野菜本来の味が十分に味わえるような加熱方法や切り方を取り入れたり、甘酒を使って甘さを出したりと、美味しい給食づくりに余念がなく、食べ残す園児も殆どいないとのこと。

同園のこのような取組は、「0歳から就学までのこどもの食事が体の基本をつくる」という考え方によるとのことです。園児の農業体験も通じ、「自然の恵みによる食事」への感謝の心が育まれる食育を進めています。



【農業体験（稲刈り）】

その他の取組事例についてはこちらから



大分県拠点へお気軽にご相談ください！

九州農政局大分県拠点
地方参事官室

〒870-0047 大分市中島西1-2-28
TEL 097-532-6131（代表） FAX 097-532-6281
URL <https://www.maff.go.jp/kyusyu/oita/index.html>

